

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-IV-9

4-IV-9

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ピーク時の宿泊施設確保に向けた本土側との連携
	節 IV. ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	9 宿泊施設連携体制の構築	事業主体	佐渡観光協会
		関連団体	新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光振興課、佐渡市観光振興課、県観光協会
事業実施期間	H28～H34		
事業概要	【事業目的】	○ ピーク時の宿泊施設不足への対応として、佐渡と新潟本土を繋ぐ地域を中心に県内全域での連携を図る。	
	【事業内容】	○ 本土側の関係機関と連携を図り、島内の宿泊予約状況を随時確認できる情報共有体制を構築する。	
事業実績	【事業成果】	● 新潟駅前観光案内所(新潟観光コンベンション協会)と両津港案内所との連絡体制の構築のため、案内所職員の研修会を実施した。	
今後の取組・課題	【課題】	■ 新潟観光コンベンション協会(新潟駅前観光案内所)の他、上越観光コンベンション協会・長岡観光コンベンション協会・寺泊観光協会等との情報共有が必要である。	
	【今後の取組】	■ 佐渡島内宿泊施設のピーク時の残室を両津港案内所を經由し、新潟、上越、長岡の観光コンベンション協会や寺泊観光協会で情報を把握できる方法を検討する。	
事業評価	【事業の達成度】 [a ● b ● c]	◇ 研修会の実施等、宿泊施設の連絡体制の構築に向けて、案内所職員の研修会を行った。	
	【事業実施の効果】 [a ● b ● c]		
	【総合評価】 [A ● B ● C]		

- a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

- A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。